

旅立ちに向けて

10年間の感謝と新たな一歩

O・Y

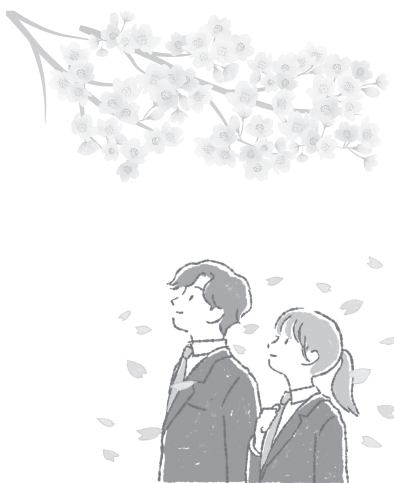
私は小学2年生の頃から今までの約10年間、愛の聖母園で過ごしてきました。幼い頃この場所に来た時は、不安と寂しさで胸がいっぱいでしたが今振り返ると、この施設は私にとって「家」であり、支えてくれた人々は「家族」そのものだっと思った。施設での生活は決して楽しい事ばかりではありませんでした。時には辛い思いをした時もありましたが、それ以上に多くの愛と支えがあり施設の大人の方たちが私に注いでくれた温かい言葉や、子どもたちとの笑い合った日々はどれも忘れられない大切な思い出です。困った時に寄り添ってくれる大人がいること、仲間と一緒に泣いて笑える場所があること、それがどれほど貴重なことか、この10年で身にしみて感じました。

特に辛い時期を乗り越えられたのは、施設の方々の支えがあったからこそです。失敗しても諦めずに頑張ることを教えてくれ、私の可能性を信じてくれたその姿勢に、どれほど励まされたか分かりません。感謝の

言葉では言い尽くせない思いが胸にあふれています。

そして来年からは新たな一歩を踏み出す時が来ます。未来への期待と不安がある中で、私はこの施設で得たすべての経験を力にして、前を向いて進んでいこうと思います。施設で学んだ大切なこと「人を思いやる心、挑戦する勇氣、そして決して諦めない強さ」これらを胸に刻みながら、どんな困難も乗り越えていきます。

最後に、これまで私を支えてくれたすべての方々に、心から感謝しています。愛の聖母園で過ごした時間は私にとって一生の宝物です。皆さんのおかげで、私はここまで成長することができました。約10年間、本当にありがとうございました。



幸せって

F・A

「家族がほしい、施設にいたくない。」私は、施設にきたのが中一の終わり、来て環境が一気に変わった。施設にきてから今もずっと施設にいるのはすごく嫌で地獄な生活で、ルールは多いし自分がしたいことがなかなか出来ない。私の周りに家族がいる人は、楽しく生活していてすごく羨ましくて「家族」っていうのが知りたかった。友人と家族の話をする時、過去の話しかできない。現在のことを話したいのに家族がいないから話すことがなく聞くことが多かった。私も友人に沢山家族のことを話したいのに愛の聖母園にいるっていうのが、恥ずかしい言うのが怖くて相手からどう思われるんだろう、もし私が施設っていうのが色んな人に広まったらどうしよう、あの子可哀想だねって思われるのが嫌で嫌で中学の時は、言えなくて一人で抱え込んで泣いてばかりだった。施設の職員に迷惑かけるし、約束は破るし喧嘩して反抗もするし家出もするし、施設の人に嫌われてるんだろうなって